

2018.6.10 ニセコ縦走(白樺シャクナゲ)盛りだくさん旅

C L水江、A 班：SL 藤木晴、澤田、相馬、笹山、門馬、鈴木、B 班：SL、山岸、西田、藤木た、永宮、及川、太田、小笠原、天候：くもり、気温：10℃前後 距離 8.34Km、累積標高上り 473m、下り 672m

Prologue：スタートから白樺山（足慣らし、入門編） 8：16→9：24

タケノコ採りで下の駐車場は満員。新見峠は閑散。登山道わきの笹やぶに色目を使いつつ、約 1 時間で白樺山頂へ。沢山の花が迎えてくれた。紫のグラデーションと青い花が見事。アズマギク、珍しい花だそう。風がちょっと冷たいが登りでひと汗かいたのでちょうどいいね。山頂で記念撮影、この後の展開を知る由もなく皆いい笑顔。

Stage 1：無名峰への縦走路（雪渓トラップに惑わされる） 9：30 過ぎ～11：16

白樺を下って、縦走路へ。歩きやすい道。無名峰に差し掛かるとゴツゴツ岩だらけ。途中雪渓もあって登山道を見失いそうになる。やっぱりニセコの山ですね。普通には歩かせてくれません。またも登りでひと汗。シャクナゲ岳が近づいてきた。

Stage 2：シャクナゲ岳分岐へ（難敵登場！本日のハイライト） ～12：21

沼のほとりへ降りていくと、、、あれ？進行方向、道がない、、、どうなってるの？なんと、沼が増水し登山道水没。深く歩いて渡るのは無理。向う岸は見えるのに。雪解け時期限定の現象でしょう。ピンチです！が、ここで諦めないのが当山岳会。手前のやぶを突っ切ることに。F 氏先陣飛び込む。背丈を超える笹のジャングル、前の人と離れないで。笹が起き上がってきて、通すものかとはばかりに行く手を阻む。足元は湿地。誰か踏み外して水没し悲鳴。笹の海を歩いて渡る、浮遊感が何ともいえず。格闘 30 分、ようやくやぶを抜けた先は一面の雪面、夏道は隠されていて危険&時間切れにて、シャクナゲ登頂は断念。

Stage 3：ピーナスの丘を経てチセヌプリ分岐（難所の後のやすらぎ） ～13：33

途中登山道に一列に並んで昼食。雪が融けたばかりなのか、道はぐちゃぐちゃ、足早に通過。さっきのやぶに比べれば、楽勝。

Final stage：チセヌプリをかすめてスキー場跡へ（ラスボス登場） ～14：10

小さい雪渓が何度も出現。湯元温泉への道は笹がかぶっていて廃道状態。本日 2 回目のやぶ漕ぎ。シーズン前で通る人が少ないせいか、草刈りが追い付かないのか。最終リフト地点でようやく道が整いホッとす。

Epilogue：最終リフトから駐車場へ（お宝ゲット山菜ざんまい） ～15：10

タケノコ、ふき、うど、あるね～。皆さん山菜モードに突入。歩いた後のお楽しみ。7 時間の縦走を終え大満足のゴール、満車だった駐車場はガラガラに空いていた。

無事に全ステージをクリア！こんな静かなニセコはめったにない。（ちょっぴり早かった？）花岩雪やぶ山菜、この時期限定、盛りだくさんなニセコ旅でした。水江し、皆様に感謝感謝。



白樺山に咲く花たち



白樺山頂。うっすらと青空。



無名峰への登り雪渓、道を探して



やぶ漕ぎ中。進行方向にシャクナゲ山頂



ここはまだ春の始まりのよう、芽吹き前



近くて遠かったシャクナゲ山頂、またね。



大収穫ニンマリするS女史

太田記